第一次 富士見町サル被害対策プロジェクト 令和元年度 年次報告書

令和2年5月 富士見町有害鳥獣対策協議会

基礎 データ 〇サル分布状況:瀬沢群 50頭、蔦木群 50頭、花場群 150頭 【加害レベル】いずれもレベル3(目安:通年農地に出没し、農作物に被害を及ぼす)

〇農作物被害額(H28):1,489千円【作物種別】トウモロコシ、ネギ、カボチャ、ブルーベリーなど

次

富士見町サル被害対策プロジェクト(平成三十年三月)

- データ 〇進入防止柵(集落柵)の設置:51.1km 【柵の種別】ネット柵(通電あり・なし)、電気柵、金網複合柵
 - 〇サル捕獲頭数(H28):瀬沢群 9頭、蔦木群 16頭、花場群 26頭

※第一次 富士見町サル被害対策プロジェクトより引用

サル被害対策の現状と課題

<追払い>

被害農家個人レベルでの実施

▶集落全体での追払いの実施

<環境整備>

誘因物の残存、緩衝帯未整備箇所

>誘因物の現況把握、緩衝帯整備の 実施

<進入防止>

集落柵設置事業の完了も、通電しなかったり隙間があったり、そもそもサル対策に向いていないものも

➤資材支給などで不良箇所の修繕を サポート、電気柵監視通報システム の有効活用、農地ごとの電気柵設置

<有害捕獲>

通年、特に冬期に集中して捕獲を実 施するも、徐々に捕獲されにくく なっている

➤テレメトリー調査などによりサル 群れ情報・行動特性を把握し、計画 的に捕獲

■ 基本方針 ■ 町の豊かな自然、農業、暮らしを守るため、「追払し

町の豊かな自然、農業、暮らしを守るため、「追払い」「環境整備」「進入防止」「有 害捕獲」の各対策を、地域のみなさんと協働して、総合的に進める

複合的なサル対策

集落診断

サルの出没位置や誘因物、 進入防止柵の現況を調査 し、被害原因を特定

追払い

繰り返しの追払いや、集 落みんなでの追い上げで サルから怖がられる

目

環境整備

収穫後の残さや廃果の撤去や、林や藪の整備でサルのエサ場にさせない

進入防止

圃場、集落の種別に応じ て進入防止柵を維持管理 し、すき間をなくす

有害捕獲

テレメトリー調査などに よりサル群を分析し、悪 さをする個体を取り除く

加害群れの発生のメカニズム

サルは、山に生息している

山に人が来ないから自由に動き回る

畑に近づくとエサがある

ある特定の個体は野菜に餌付く

加害群れの発生

複合的なサル対策により加害群れ発生を抑制

サル被害の軽減

- 里山のにぎわい復活
- 里地の地域資源の有効活用
- 地域で声をかけあう光景

基礎データ

- ○サル分布状況:瀬沢群 40頭、蔦木群 40頭、花場群 100頭、平岡群 20頭
- ○加害レベル: 蔦木群 レベル4(目安:群れの全個体が通年耕作地周辺に出没、常時農作物被害、人慣れしている) その他 レベル3(目安:群れの大半の個体が季節的に耕作地に出没、季節的に農作物被害、人慣れし始めている)
- データ ○農作物被害額(R1):2,249千円 【作物種別】トウモロコシ、ジャガイモ、ナス、カボチャ、ネギ、キュウリなど
 - 〇進入防止柵(集落柵)の設置:51.1km 【柵の種別】ネット柵(通電あり・なし)、電気柵、金網複合柵

- ※令和2年度第二種特定鳥獣管理計画(ニホンザル)
- 〇サル捕獲頭数(R1):瀬沢群 6頭、蔦木群 18頭(GPS装着1頭)、花場群 20頭(GPS装着1頭)、平岡群 O頭
- 年次計画(富士見町計画)より引用

集落診断

- ○協議会のモデル集落事業により、上蔦木区でサルのGPSデータやセンサーカメラ、現地踏査に基づき集落診断
- ▶サル群れが集落沿いに東西に広がる樹林帯と河畔林内に線上に滞在している
- ▶進入防止柵のすき間箇所を調査したところ、サルの滞在頻度が高い場所と重なることも判明。修繕につなげた箇所もあり
- ▶集落近くにいることに慣れているものの人への警戒心が強い(集落での追払いの成果)
- ▶これら集落診断に基づき、今後の取組について協議。モデル圃場の設置に取り組む。
- ○池袋区では、独自に集落環境診断を実施。協議会で地図の提供。

追払い

- ○集落からの申請に基づき、追払い資材の支給
- ▶瀬沢新田集落組合では、独自に集落ぐるみでの追払いを実施
- ○サル位置情報メールの配信やホームページのサルマップを通じて、住民のみなさんの追払いの実施状況を共有
- ○講習会や現地立会いなどの際に、追払い方法について案内(道具なしに人間が近づくだけでも、サルは逃げていきます)

環境

- ○協議会事業により、上蔦木区で進入防止柵沿いに長さ430m、幅5m以上の緩衝帯を整備
- 〇先達区で、進入防止柵沿いに長さ455m、幅5m以上の緩衝帯を整備
- ○先能集落組合で、農地沿いに長さ250m、幅7m以上の緩衝帯を整備
- ※立木・立竹の伐採において、保安林など森林法の許可や届出が必要な場合があります。集落で実施の際はご注意ください
- ○先達区で、長さ455mの進入防止柵の設置工事
- ○平岡・神代区で、長さ400mの進入防止柵の建替え工事
- ○小六区で、長さ105mの進入防止柵の移設工事

進入

- ○下蔦木集落組合で、資材支給により長さ325mの進入防止柵の設置工事
- 防止 ○集落からの申請に基づき、進入防止柵の補修等の資材を支給
 - ○個人の農地に設置する電気柵の資材費に補助金を交付(3件)
 - ○電気柵監視通報システムの更改により、新規のアカウント等を集落へ通知
 - ▶御射山神戸区では、毎日電気柵監視通報システムを利用することで、迅速な修繕につながっている

有害 捕獲

- ○富士見町猟友会に通年の委託をするなど、44頭のサルを捕獲(瀬沢群 6 頭、蔦木群18頭(GPS装着 1 頭)、花場群20頭(GPS装着 1 頭))
- >うち、11月~3月の捕獲は31頭。
- ▶捕獲活動の参考としてテレメトリー調査の情報を富士見町猟友会と共有